

^ 13  
3796

梅忠 全六 招迎







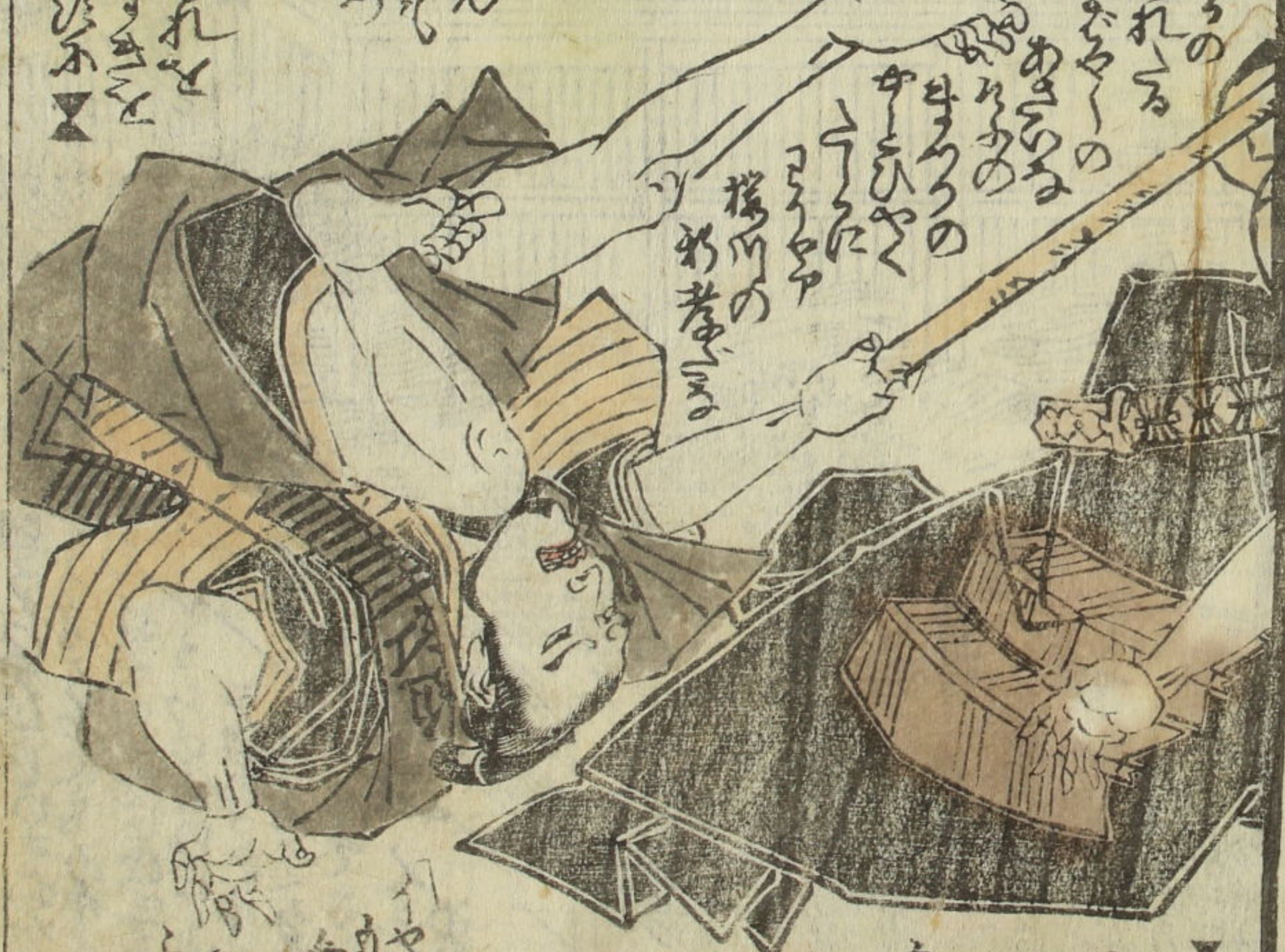
これ、梅屋敷の御代、  
ちびやう、ちびやうと申す  
るは、ちびやうと申す  
るは、ちびやうと申す

これの御代、  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す



これの御代、  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す

これの御代、  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す



これの御代、  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す  
ちびやうと申す













△お目にはみくとも  
 □うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら

△お目にはみくとも  
 □うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら

△お目にはみくとも  
 □うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら



△お目にはみくとも  
 □うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら

△お目にはみくとも  
 □うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら

△お目にはみくとも  
 □うらふきくとも  
 ◎それあつら  
 お目にはみくとも  
 うらふきくとも  
 ◎それあつら







浪花名所往来 箱根権現七湯廻 東都當世名物往来

讃州金毘羅詣 房總順見往来 商家今川懐状

秋葉鳳来寺詣 銚子磯廻文章 七不思儀越後往来

播磨廻順見文章 武陽御嶽山詣 越中山 加賀白山 北國往来

伊勢系宮往来 同高尾山詣 續北國往来

戸隠善光寺詣 同三峯山詣 高野山 熊野三社 和歌山 并 覽文章

草津温泉往来 同松山詣 湯敷山 并 覽文章

相州大山詣 東都目黒詣 奈良七左衛門 吉野大峯 大和廻之記

早稲心塵劫記 小本 世はあまのこ有らんこと ともありあけのこを 西宮新六版

狂歌懐中抄 六樹園翁撰 小本一冊 萬屋重三郎

早表の 苗代 春秋庵 西宮新六版

水  
 高心  
 澗川  
 考作  
 孫州  
 國貞  
 畫下  
 卷



大

ゆりゆりのらひなれと  
ちりちりもねんや  
むすめのおもひ肉の  
おのれいふひもひ  
わづらひのまへ  
あけてかきぬさ  
ふたりあふひも  
りけお母とあうえん子  
あり合はるゝ  
すゆゑのまはる  
ゆめとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる

あふひとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる



あふひとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる  
あふひとまはる

あふひとまはる  
あふひとまはる

Handwritten text in the upper right corner, starting with the character '花'. It contains several lines of cursive writing in kuzushiji.

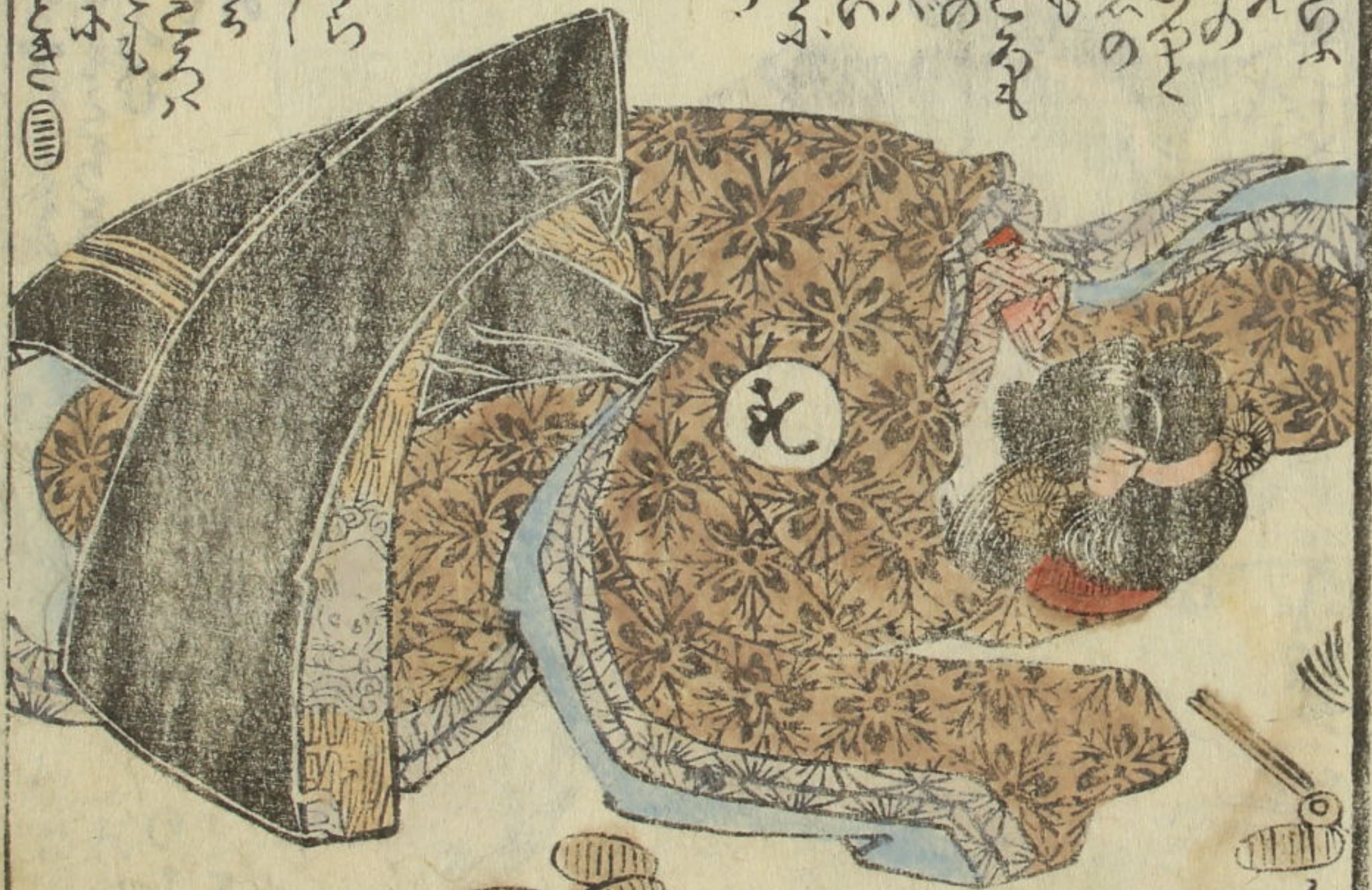


Handwritten text surrounding the woman's illustration, including various characters and a circular seal.

Handwritten text in the bottom right corner, including several circular seals and small illustrations.

Handwritten text in the upper left corner of the left page, continuing the cursive writing.

Handwritten text in the middle left section, with several circular seals interspersed among the characters.



Handwritten text at the bottom left, including several circular seals and small illustrations of objects.

Vertical text on the far left edge of the pages, likely a page number or title.





月しんやいつをやらんら  
 たりーそのおにんあちて  
 あつらひは後これれをま  
 とうらひをばあまをうら  
 とうらひをうらやあ人のあれ  
 合でうらなたらんあんど  
 のうらひはあまのあまの  
 とうらひをうらあまのあまの  
 何今うらあまのあまの  
 つらうらあまのあまの  
 のうらひをうらあまのあまの  
 まるあちあまのあまの  
 のうらひをうらあまのあまの  
 あまのあまのあまのあまの  
 みるあまのあまのあまの  
 八あまのあまのあまの  
 うらひをうらあまのあまの  
 梅川あまのあまのあまの  
 園のあまのあまのあまの  
 あまのあまのあまのあまの  
 ころあまのあまのあまの  
 ねあまのあまのあまの



利

利

利のあまのあまのあまの  
 利のあまのあまのあまの  
 利のあまのあまのあまの  
 利のあまのあまのあまの

「あまのあまのあまのあまの  
 あまのあまのあまのあまの  
 あまのあまのあまのあまの  
 あまのあまのあまのあまの



仁のあまのあまのあまの  
 仁のあまのあまのあまの  
 仁のあまのあまのあまの  
 仁のあまのあまのあまの

仁のあまのあまのあまの  
 仁のあまのあまのあまの  
 仁のあまのあまのあまの  
 仁のあまのあまのあまの

仁

仁



田代の山に  
 雲の影を  
 月影を  
 雲の影を  
 月影を



田代の山に  
 雲の影を  
 月影を  
 雲の影を  
 月影を

田代の山に  
 雲の影を  
 月影を  
 雲の影を  
 月影を

田代の山に  
 雲の影を  
 月影を  
 雲の影を  
 月影を



田代の山に  
 雲の影を  
 月影を  
 雲の影を  
 月影を

田代の山に  
 雲の影を  
 月影を  
 雲の影を  
 月影を



けちりぬ移しんはつたてのさかきこ  
 りをむし移さるるちのめはひりて  
 いたびのめはひりてちのめはひりて

けちりぬ移しんはつたてのさかきこ  
 りをむし移さるるちのめはひりて  
 いたびのめはひりてちのめはひりて

けちりぬ移しんはつたてのさかきこ  
 りをむし移さるるちのめはひりて  
 いたびのめはひりてちのめはひりて



けちりぬ移しんはつたてのさかきこ  
 りをむし移さるるちのめはひりて  
 いたびのめはひりてちのめはひりて

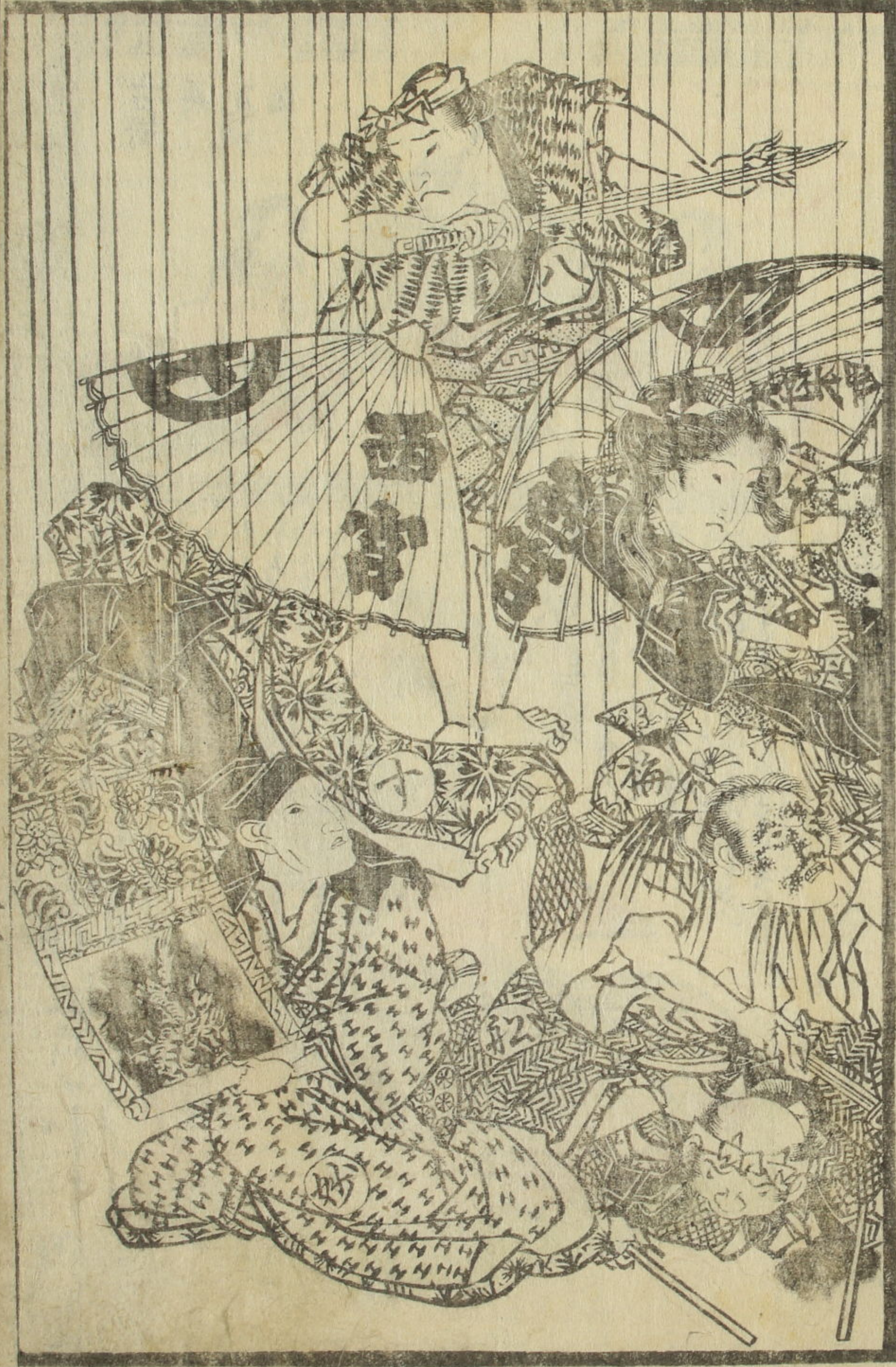
けちりぬ移しんはつたてのさかきこ  
 りをむし移さるるちのめはひりて  
 いたびのめはひりてちのめはひりて



持  
 けちりぬ移しんはつたてのさかきこ  
 りをむし移さるるちのめはひりて  
 いたびのめはひりてちのめはひりて

新  
 孫  
 衛  
 明





改

九

文政六癸未新春新鑄目錄

一 番太鼓春乃明保濃 全六冊  
須磨浦の編賣 前口村の悲歎  
 二 重涂曾我雁金 全六冊  
琴月小夜 懸天堂三郎  
 三 合點二編 全二冊  
中本  
 四 美艷仙女香 一包  
四十八編  
 五 錦繪問屋 春松軒  
江戸本村木町壹丁目  
 六 西宮新六  
地本義本



瀬川路考作

歌川國貞画

此の天とて  
 いまはなとて  
 あくはん  
 あらびそ  
 せんせん  
 あらび  
 りそ  
 する  
 りよの  
 二りの  
 まま  
 せんでるめひひまき  
 おすも今ふらふら  
 村まあとよひふらふら  
 けのねをいひらふら  
 くらひまふらふら  
 りのんまふらふら



